環境経営レポート
２０２２年度

（対象期間：　２０２２年４月１日～２０２３年３月３１日）

私たちは、持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

2023年8月1日発行

承認	作成
篠田	辰本
社長	管理責任者

未来へ伝わる・つながるＩＰネットワークのヒノックス

Telecommunications and Power Electronics

株式会社 ヒノックス

目次

策定（Ｐｌａｎ）
1．組織の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

（１） 事業所名・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
（２） 所在地・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
（３） 代表者・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
（４） 管理責任者・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
（５） 連絡先・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
（６） 事業の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
（７） 事業規模・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
（８） 対象範囲（認証・登録範囲）・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
（９） レポートの対象期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
（10） レポートの発行日・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

2．経営における課題とチャンス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

3．環境経営方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

4．環境経営目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

（１） 基準値設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
（２） 単年度、中期目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
（３） 環境経営計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

実施（Do）
5．環境経営計画及に基づき実施した取組内容・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

確認及び評価（Check）
6．環境経営目標の実績確認・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

7．環境経営計画の実績・取組結果とその評価、並びに次年度の取組内容・・・・ 8

（１）二酸化炭素排出量の削減・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
（２）省エネルギー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9-12
（３）廃棄物排出量の削減・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
（４）水使用量の削減・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
（５）コピー用紙購入・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
（６）梱包材購入量・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
（７）環境対応品購入・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17
（８）マテリアルバランス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18
（９）その他の取組・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18-19

8．環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無・・・20

（１）環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果・・・・・・・・・20
（２）違反、訴訟等の有無・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20

評価と見直し（Ａｃｔ）
9．代表者による全体評価と見直し・指示・・・・・・・・・・・・・・・・・・21

１０．環境経営レポートの公表と活用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21

１．組織の概要

（１） 事業所名

株式会社 ヒノックス

（２） 所在地

本社　　〒１９３－０８３５　東京都八王子市千人町２丁目１２番５号

第二工場　〒１９３－０８３５　東京都八王子市千人町２丁目１５番５号

（３） 代表者

代表取締役社長　　依田　享

（４） 管理責任者

環境管理責任者　　辰本　靖

（５） 連絡先

ＴＥＬ：０４２－６６５－３９９１(代表)
ＦＡＸ：０４２－６６５－２２２３
ＵＲＬ：http://www.hinox.co.jp/

（６） 事業の概要（全活動）

電源機器（産業用スイッチング電源機器）及び情報システム機器
（情報伝送機器、モデム、監視装置等）の開発、設計、製造、販売

（７） 事業規模

年度	２０２０年度	２０２１年度	２０２２年度
売上金額	11億5,894万円	9億1,000万円	９億５５００万円
従業員数	３９名	38名	38名
床面積（本社）	１，６０６㎡	１，６０６㎡	１，６０６㎡
床面積（第二工場）	ー	６６１㎡	６６１㎡

※北斗電子(15名)

（８） 対象範囲

・認証登録日：2005年5月24日　　認証登録番号：0000404
・対象範囲：１頁の（１）、（２）、（６）に記載

（９） レポートの対象期間　２０２２年４月１日～２０２３年３月３１日

（10） レポートの発行日　2023年8月1日

2．経営における課題とチャンス

・内部課題とチャンス

技術：部品廃品により再設計を必要としている製品の設計/評価/量産工程の具体化すること。

営業：製造中止部品を中心とした部材管理データの作成及び活用方法を確立する。

購買：難入品の入手について方策の検討し実施する。(継続)

生産：製造原価の更新管理と製造検査工程の立案や実施に際して、他部門とも連携して生産会議で情報共有する。（継続）

品質：各部門の管理規定の見直して改善する。

受入：部品の保管、保管スペースの確保を更に改善する。（継続）

総務：庶務関連業務の労力配分の見直しと移譲を検討、実施する。（継続）

・外部課題とチャンス

技術：顧客ニーズの多様化に対応し、新製品や新技術を検討する。

営業：新規開発品の仕様まとめ顧客や新市場へ調査を開始する。

購買：製造中止部品を中心とした部材情報を入手し、部材管理データの作成及び活用方法を確立する。

生産：新設備の具体的導入、及びオペレーションの安定化を図る。

品質：生産ラインの画像検査機で、検査可能な製品を増加させる。

受入：取引先を含む廃品処理部品について検討する。

総務：委託業者の協力を得て消防訓練の継続する。
第二工場の省エネ照明への変更を検討する。

３．環境経営方針

基本理念

当社は、主に情報通信およびパワーエレクトロニクスの分野におけるメーカーとして、業界に信頼されることを目指し、環境経営方針を定めて、全従業員に説明し、掲示し、周知徹底し、継続的な改善を誓約する。

行動指針

１．事業活動で使用する資源やエネルギー消費量を削減する。

２．事業活動から排出される二酸化炭素の排出量の削減及び廃棄物排出の抑制、再利用、再生利用を推進する。

３．生物の多様性に及ぼす影響の低減及び持続可能な社会の構築に貢献拡大するために、地球温暖化に係わる事項を把握して温暖化防止に取組む。

４．環境に配慮した顧客ニーズの高い製品を開発する。

５．環境に配慮した物品等の購入、使用を推進する。

６．環境保全に関連する法規制等の遵守を誓約する。

制定日：2012年 4月 1日
改定日：2023年 4月 1日
株式会社 ヒノックス
代表取締役　依田　享

4. 環境経営目標

（1） 基準値設定（２０２１年度実績）

※ 印の項目においては、第二工場は非該当です。

項目	基準値（全体）	基準値（本社）	基準値（第二工場）
二酸化炭素排出量	103,610[kg-CO_2]	85,196[kg-CO_2]	18,414[kg-CO_2]
電力使用量	232,910[kWh]	184,819[kWh]	48,091[kWh]
ガソリン使用量	715[ℓ]	572[ℓ]	143[ℓ]
オーバーホール受注台数 ※	84[台数]	84[台数]	非該当
廃棄物排出量	4991[kg]	3,993[kg]	998[kg]
水使用量	460[㎥]	383[㎥]	77[㎥]
コピー用紙購入量	480[kg]	384[kg]	96[kg]
梱包材購入量	2391[kg]	1,913[kg]	478[kg]
環境対応品購入 ※	購入比率85%以上	購入比率85%以上	非該当

（2） 単年度、中期目標

・全体

環境目標項目				2022年度		2023年度		2024年度	
二酸化炭素排出量	kg-CO_2	前年比	総量	-1%	102,574	-1%	101,548	-1%	100,533
			削減量		-1,036		-1,026		-1,015
電力使用量	kWh	前年比	総量	-1%	230,581	-1%	228,275	-1%	225,992
			削減量		-2,329		-2,306		-2,283
ガソリン使用量	kg	前年比	総量	-1%	708	-1%	701	-1%	694
			削減量		-7		-7		-7
オーバーホール受注台数	台数	前年比	総量	同等	84	同等	84	同等	84
			削減量						
廃棄物排出量	kg	前年比	総量	-1%	4,941	-1%	4,892	-1%	4,843
			削減量		-50		-49		-49
水使用量	㎥	前年比	総量	-1%	455	-1%	450	-1%	446
			削減量		-5		-5		-4
コピー用紙購入量	kg	目標値	受注	-1%	475	-1%	470	-1%	465
			目標値		-5		-5		-5
梱包材購入量	kg	前年比	総量	-1%	2,367	-1%	2,343	-1%	2,320
			削減量		-24		-24		-23
環境対応品購入	円	目標値	総額	85%以上	購入品総額	85%以上	購入品総額	85%以上	購入品総額

・本社

環境目標項目				2022年度		2023年度		2024年度	
二酸化炭素排出量	kg-CO_2	前年比	総量	-1%	84,344	-1%	83,501	-1%	82,666
			削減量		-852		-843		-835
電力使用量	kWh	前年比	総量	-1%	182,971	-1%	181,141	-1%	179,330
			削減量		-1,848		-1,830		-1,811
ガソリン使用量	kg	前年比	総量	-1%	566	-1%	560	-1%	554
			削減量		-6		-6		-6
オーバーホール受注台数	台数	前年比	総量	同等	84	同等	84	同等	84
			削減量						
廃棄物排出量	kg	前年比	総量	-1%	3,953	-1%	3,913	-1%	3,874
			削減量		-40		-40		-39
水使用量	㎥	前年比	総量	-1%	379	-1%	375	-1%	371
			削減量		-4		-4		-4
コピー用紙購入量	kg	目標値	受注	-1%	380	-1%	376	-1%	373
			目標値		-4		-4		-3
梱包材購入量	kg	前年比	総量	-1%	1,894	-1%	1,875	-1%	1,856
			削減量		-19		-19		-19
環境対応品購入	円	目標値	総額	85%以上	購入品総額	85%以上	購入品総額	85%以上	購入品総額

・第二工場

環境目標項目				2022年度		2023年度		2024年度	
二酸化炭素排出量	kg-CO_2	前年比	総量	-1%	18,230	-1%	18,048	-1%	17,868
			削減量		-184		-182		-180
電力使用量	kWh	前年比	総量	-1%	47,610	-1%	47,134	-1%	46,663
			削減量		-481		-476		-471
ガソリン使用量	kg	前年比	総量	-1%	142	-1%	141	-1%	140
			削減量		-1		-1		-1
オーバーホール受注台数	台数	前年比	総量	同等	非該当	同等	非該当	同等	非該当
			削減量						
廃棄物排出量	kg	前年比	総量	-1%	988	-1%	978	-1%	968
			削減量		-10		-10		-10
水使用量	㎥	前年比	総量	-1%	76	-1%	75	-1%	74
			削減量		-1		-1		-1
コピー用紙購入量	kg	目標値	受注	-1%	95	-1%	94	-1%	93
			目標値		-1		-1		-1
梱包材購入量	kg	前年比	総量	-1%	473	-1%	468	-1%	463
			削減量		-5		-5		-5
環境対応品購入	円	目標値	総額	85%以上	非該当	85%以上	非該当	85%以上	非該当

（3）環境経営計画

・本社

項目		活動内容
1	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減
		ｶﾞｿﾘﾝ使用量の削減
		廃棄物排出量の削減
2	電力使用量の削減	節電の啓発および省ｴﾈ(設備の確認)
		蛍光灯のﾌﾟﾙｽｲｯﾁによる間引き、照明器具清掃
		ｴｱｺﾝの温度設定(冷房２８℃ 暖房２０℃)、空調の使用
		扇風機、ﾛｰﾙｶｰﾃﾝ、ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞの活用
		事業活動おいて使用する設備(未使用時ｵﾌ)
3	ｶﾞｿﾘﾝ使用量の削減	ｴｺﾄﾞﾗｲﾌﾞ（急発進、急加速、ｱｲﾄﾞﾘﾝｸﾞｽﾄｯﾌﾟ）
		用途に合わせて公共交通機関の優先利用
4	ｵｰﾊﾞｰﾎｰﾙ二酸化炭素排出量の削減	製品のｵｰﾊﾞｰﾎｰﾙ営業活動
		経年劣化部品を交換して可能な限り再使用
5	廃棄物排出量の削減	抑制、再使用、再生利用の推進
		廃棄物の分別、再徹底、削減の推進
6	水使用量の削減	蛇口付近に節水の表示(自動水栓)
		生活用水以外は洗車など使用を控える
		ﾄｲﾚに音発生器「音消し」による無駄な水削減
7	ｺﾋﾟｰ用紙使用量の削減	両面印刷、両面ｺﾋﾟｰの推進、ﾐｽｺﾋﾟｰ防止
		裏紙の使用、電子化、ﾍﾟｰﾊﾟｰﾚｽ化
8	梱包材の削減	梱包材の見直し
		梱包材の再使用、再生利用、推進
9	環境対応品購入の推進	環境委対応品購入の推進
		購入品目の拡大、ｺｽﾄ把握

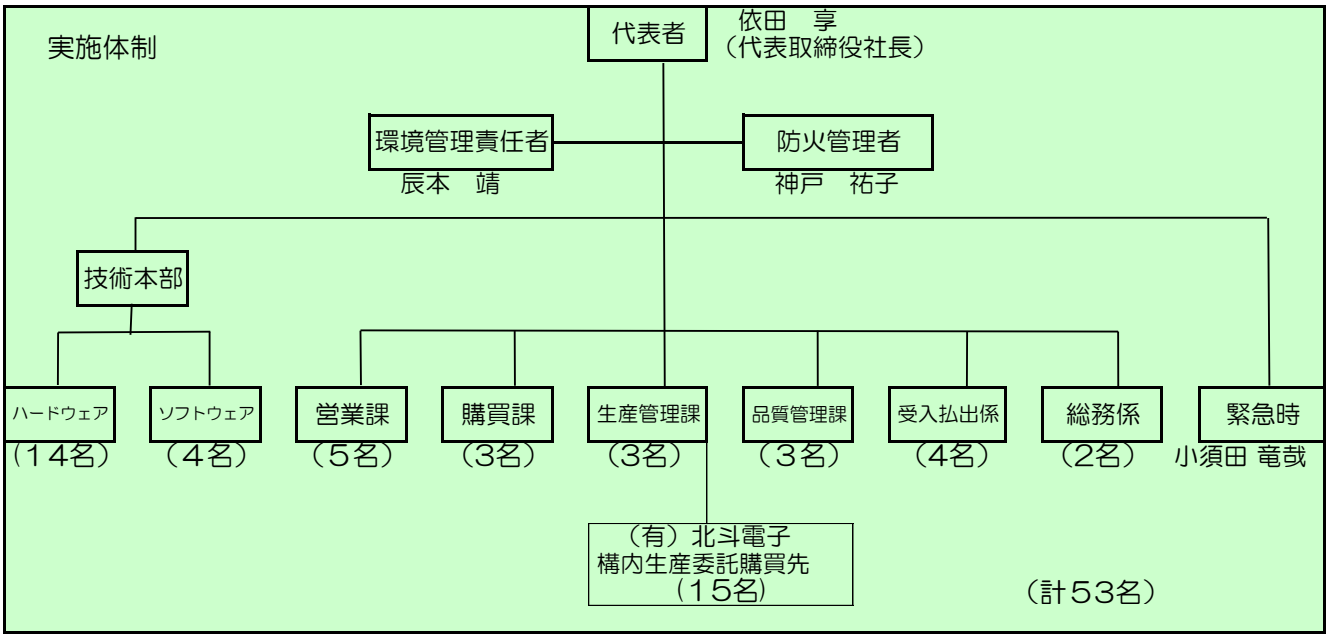
・第二工場　　※ 印の項目においては、第二工場は非該当です。

項目		活動内容
1	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減
		ｶﾞｿﾘﾝ使用量の削減
		廃棄物排出量の削減
2	電力使用量の削減	節電の啓発および省ｴﾈ(設備の確認)
		蛍光灯のﾌﾟﾙｽｲｯﾁによる間引き、照明器具清掃
		ｴｱｺﾝの温度設定(冷房２８℃ 暖房２０℃)、空調の使用
		扇風機、ﾛｰﾙｶｰﾃﾝ、ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞの活用
		事業活動おいて使用する設備(未使用時ｵﾌ)
3	ｶﾞｿﾘﾝ使用量の削減	ｴｺﾄﾞﾗｲﾌﾞ（急発進、急加速、ｱｲﾄﾞﾘﾝｸﾞｽﾄｯﾌﾟ）
		用途に合わせて公共交通機関の優先利用
4	ｵｰﾊﾞｰﾎｰﾙ二酸化炭素排出量の削減 ※	非該当
5	廃棄物排出量の削減	抑制、再使用、再生利用の推進
		廃棄物の分別、再徹底、削減の推進
6	水使用量の削減	蛇口付近に節水の表示(自動水栓)
		生活用水以外は洗車など使用を控える
		ﾄｲﾚに音発生器「音消し」による無駄な水削減
7	ｺﾋﾟｰ用紙使用量の削減	両面印刷、両面ｺﾋﾟｰの推進、ﾐｽｺﾋﾟｰ防止
		裏紙の使用、電子化、ﾍﾟｰﾊﾟｰﾚｽ化
8	梱包材の削減	梱包材の見直し
		梱包材の再使用、再生利用、推進
9	環境対応品購入の推進 ※	非該当

5．環境経営計画に基づき実施した取組内容

・全体　　※ 印の項目においては、第二工場は非該当です。

項目		活動内容	責任者	組織
1	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	小須田	全員
		ｶﾞｿﾘﾝ使用量の削減	神戸	全員
		廃棄物排出量の削減	神戸	全員
2	電力使用量の削減	節電の啓発および省ｴﾈ(設備の確認)	紺野	全員
		蛍光灯のﾌﾟﾙｽｲｯﾁによる間引き、照明器具清掃	紺野	全員
		ｴｱｺﾝの温度設定(冷房２８℃ 暖房２０℃)、空調の使用	紺野	全員
		扇風機、ﾛｰﾙｶｰﾃﾝ、ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞの活用	紺野	全員
		事業活動おいて使用する設備(未使用時ｵﾌ)	酒井	生管
3	ｶﾞｿﾘﾝ使用量の削減	ｴｺﾄﾞﾗｲﾌﾞ（急発進、急加速、ｱｲﾄﾞﾘﾝｸﾞｽﾄｯﾌﾟ）	神戸	使用者
		用途に合わせて公共交通機関の優先利用	小須田	営業
4	ｵｰﾊﾞｰﾎｰﾙ二酸化炭素排出量の削減 ※	製品のｵｰﾊﾞｰﾎｰﾙ営業活動	小須田	営業
		経年劣化部品を交換して可能な限り再使用	中野	品管
5	廃棄物排出量の削減	抑制、再使用、再生利用の推進	紺野	全員
		廃棄物の分別、再徹底、削減の推進	紺野	全員
6	水使用量の削減	蛇口付近に節水の表示(自動水栓)	神戸	全員
		生活用水以外は洗車など使用を控える	神戸	全員
		ﾄｲﾚに音発生器「音消し」による無駄な水削減	神戸	全員
7	ｺﾋﾟｰ用紙使用量の削減	両面印刷、両面ｺﾋﾟｰの推進、ﾐｽｺﾋﾟｰ防止	神戸	全員
		裏紙の使用、電子化、ﾍﾟｰﾊﾟｰﾚｽ化	神戸	全員
8	梱包材の削減	梱包材の見直し	中野	品管
		梱包材の再使用、再生利用、推進	紺野	全員
9	環境対応品購入の推進　※	環境委対応品購入の推進	神戸	総務
		購入品目の拡大、ｺｽﾄ把握	神戸	総務



氏　名	所　属	役　　割
依田　享	代表取締役社長	課題とチャンスの明確化、環境方針の設定、全体の評価と見直し等
小須田 竜哉	営業課	環境緊急事態対応責任者 （緊急時の窓口）
辰本　靖	購買係	環境管理責任者、全体の把握・構築・運用、社長に報告
紺野 陽一郎	受入払出係	特別管理産業廃棄物管理責任者
神戸　祐子	総務係	防火管理者、環境負荷削減責任者、環境対応品購入の推進
全員	各部門	環境経営方針・計画の理解と実施

6. 環境経営目標の実績確認

・全体

環境経営目標項目			2022年度目標	2022年度 実績		評価
二酸化炭素排出量	kg-CO_2	総量	102,574	94,604		○
		削減量(率)	-1036(-1%)	-7970	-8%	
電力使用量	kWh	総量	230,581	249,504		△
		削減量(率)	-2,329	+18,923	+8%	
ガソリン使用量	ℓ	総量	708	338		○
		削減量(率)	-7(-1%)	-370	-52%	
オーバーホール	台数	総量	84	129		○
		削減量(率)	同等	+45	54%	
廃棄物排出量	kg	総量	4,941	4,091		○
		削減量(率)	-50(-1%)	-850	-17%	
水使用量	㎥	総量	455	428		○
		削減量(率)	-5(-1%)	-27	-6%	
コピー用紙購入量	kg	総量	475	440		○
		増減	-5(-1%)	-35	-7%	
梱包材購入量	kg	総量	2,367	1,915		○
		削減量(率)	-24(-1%)	-452	-19%	
環境対応品購入	円	G購入額	購入比率 85%以上 = G購入額 / 購入品総額	159,226	=86%	○
		購入品総		184,498		

・本社

環境経営目標項目			2022年度目標	2022年度 実績		評価
二酸化炭素排出量	kg-CO_2	総量	84,344	77,673		○
		削減量(率)	-852(-1%)	-6671	-8%	
電力使用量	kWh	総量	182,971	204,906		×
		削減量(率)	-1,848	+21935	+12%	
ガソリン使用量	ℓ	総量	566	268		○
		削減量(率)	-6(-1%)	-298	-53%	
オーバーホール	台数	総量	84	129		○
		削減量(率)	同等	+45	54%	
廃棄物排出量	kg	総量	3,953	3,273		○
		削減量(率)	-40(-1%)	-680	-17%	
水使用量	㎥	総量	379	385		○
		削減量(率)	-4(-1%)	+6	+2%	
コピー用紙購入量	kg	総量	380	352		○
		増減	-4(-1%)	-28	-7%	
梱包材購入量	kg	総量	1,894	1,532		○
		削減量(率)	-19(-1%)	-362	-19%	
環境対応品購入	円	G購入額	購入比率 85%以上 = G購入額 / 購入品総額	159,226	=86%	○
		購入品総		184,498		

・第二工場

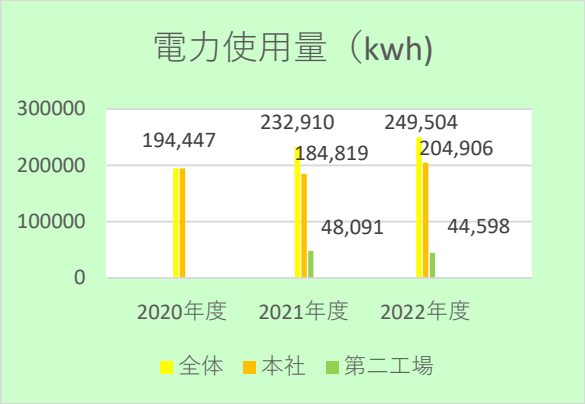
環境経営目標項目			2022年度目標	2022年度 実績		評価
二酸化炭素排出量	kg-CO_2	総量	18,230	16,931		○
		削減量(率)	-184(-1%)	-1299	-7%	
電力使用量	kWh	総量	47,610	44,598		○
		削減量(率)	-481(-1%)	-3012	-6%	
ガソリン使用量	ℓ	総量	142	70		○
		削減量(率)	-1(-1%)	-72	-51%	
オーバーホール	台数	総量	非該当	非該当		×
		削減量(率)	非該当	非該当		
廃棄物排出量	kg	総量	988	818		○
		削減量(率)	-10(-1%)	-170	-17%	
水使用量	㎥	総量	76	43		○
		削減量(率)	-1(-1%)	-33	-43%	
コピー用紙購入量	kg	総量	95	88		○
		増減	-1(-1%)	-7	-7%	
梱包材購入量	kg	総量	473	383		○
		削減量(率)	-5(-1%)	-90	-19%	
環境対応品購入	円	G購入額	非該当	非該当		×
		購入品総				

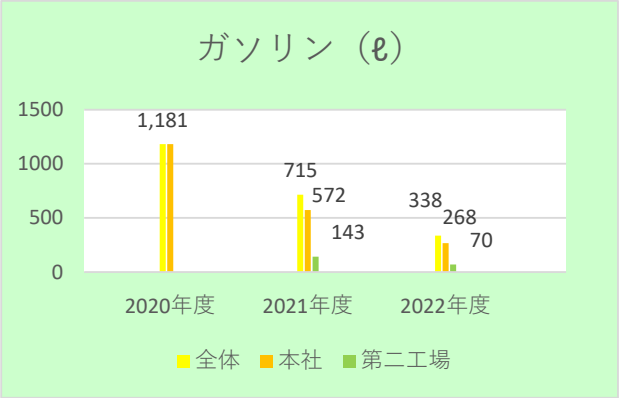
＊ 二酸化炭素の排出係数
　東京電力の調整後排出係数 ＝　基準：2021年度　0.452(kg-CO_2/kWh)
　　実績：2022年度　0.376(kg-CO_2/kWh)
＊ 環境対応品購入の実績　※環境対応品購入比率(%)=グリーン購入額(¥)／購入品総額(¥)
＊ 評価＝○ 目標達成（5%以内）／ 評価＝△ まずまず（6%～9%）／ 評価＝× 未達成（10%以上）
＊ 太陽光発電（自家）

◎本年度は生産高（売上）が前年比５％増で、売上目標を達成致しました。
本社の使用電力量の増加は、長納期部品や終息部品増の保管に品質の観点から湿度保護のために使用しました。
後は全体的に良い結果となり、次年度も全ての項目達成に向けて努力してまいります。

7．環境経営計画の実績・取組結果と その評価、並びに次年度の取組内容

（1）二酸化炭素排出量の削減（全体）

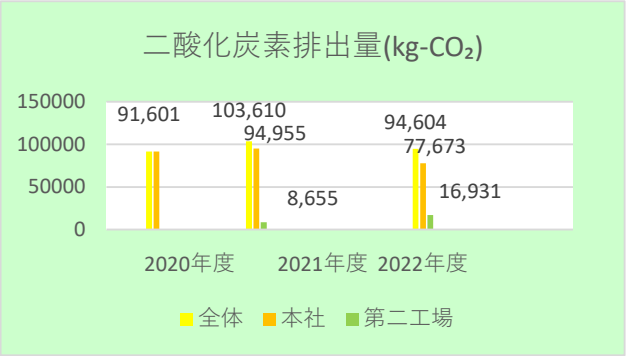


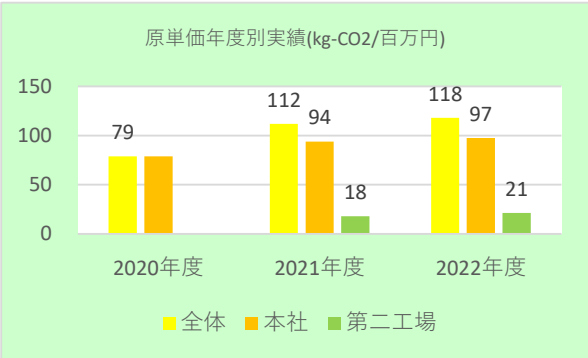


電力使用量(kwh)			
年度	2020年度	2021年度	2022年度
全体	194,447	232,910	249,504
本社	194,447	184,819	204,906
第二工場		48,091	44,598

※太陽光発電量は含みません。

ガソリン（ℓ）			
年度	2020年度	2021年度	2022年度
全体	1,181	715	338
本社	1,181	572	268
第二工場		143	70





環境経営目標項目				２０２２年度目標	２０２２年度 実績		評価
二酸化炭素排出量	全体	kg-CO_2	総量	102,574	94,604		○
			削減量(率)	-852(-1%)	-7970	-8%	
	本社	kg-CO_2	総量	84,344	77,673		○
			削減量(率)	-852(-1%)	-6671	-8%	
	第二	kg-CO_2	総量	18,230	16,931		○
			削減量(率)	-184(-1%)	-1299	-7%	

●全体の取組結果とその評価

目標値	実績値
102,574	94,604

（単位：kg-CO_2）

評価＝【　○　】　　目標値より-8%の -7,970kg-CO_2 が減少

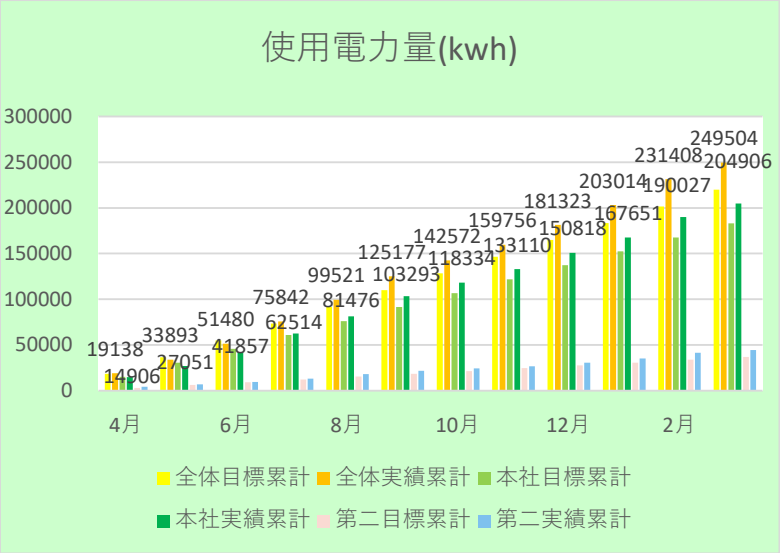
2022年度全体の二酸化炭素排出量は、東京電力CO_2排出係数が下がり目標値より-8%減の-7,970kg-CO_2 減少しました。本社は-９%減、第二は-8%減となりました。

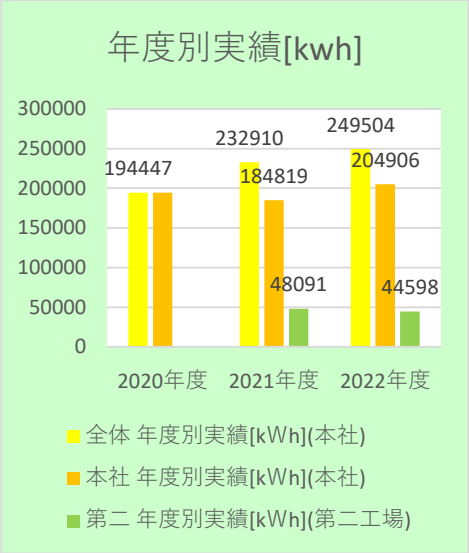
●次年度の取組内容

特に本社は、引き続き必要なエネルギー以外の使用を控え削減いたします。

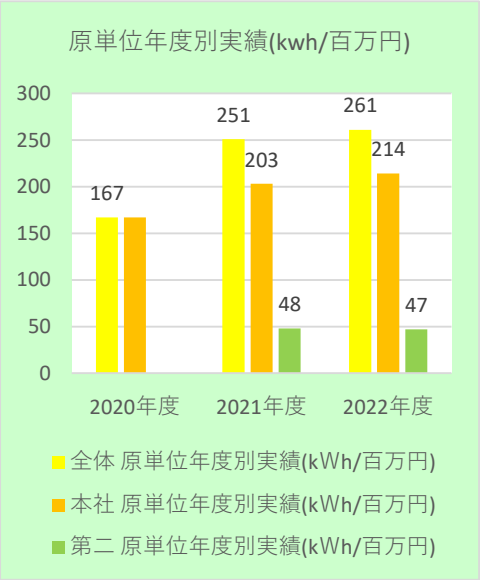
（2）省エネルギー

◇電力使用量(全体)





①節電の啓発
②蛍光灯のプルスイッチによる間引き
③エアコンの設定（冷房２８℃　暖房２０℃）
④扇風機、ロールカーテン、ブラインドの活用
⑤事業活動において使用する設備（未使用時オフ）
⑥設備の電力使用確認



電力使用量(kwh)			
年度	2020年度	2021年度	2022年度
全体	194,447	232,910	249,504
本社	194,447	184,819	204,906
第二工場		48,091	44,598

※太陽光発電量は含みません。

●全体の取組結果とその評価

目標値	実績値
230,581	249,504

（単位：kWh）

評価＝【　△　】　　目標値より８％の18,923ｋＷｈ電力使用量の増加

電力使用量は、目標値より８％の18,923kwh 増加しました。
この要因は、本社１階の部品保管のための電力使用量の増加が考えられます。

●次年度、全体の取組内容

次年度は、第二工場の照明器具をＬＥＤ灯へ変更を計画します。

◇電力使用量(本社)

●本社の取組結果

目標値	実績値
182,971	204,906

（単位：kWh）

評価＝【　×　】　　目標値より12%の21,935ｋWh電力使用量の増加

本社の電力使用量は、目標値より12%の21,935kwh 増加しました。

◇電力使用量(第二工場)

第二工場１階

第二工場２階

●第二工場の取組結果

目標値	実績値
47,610	44,598

（単位：kWh）

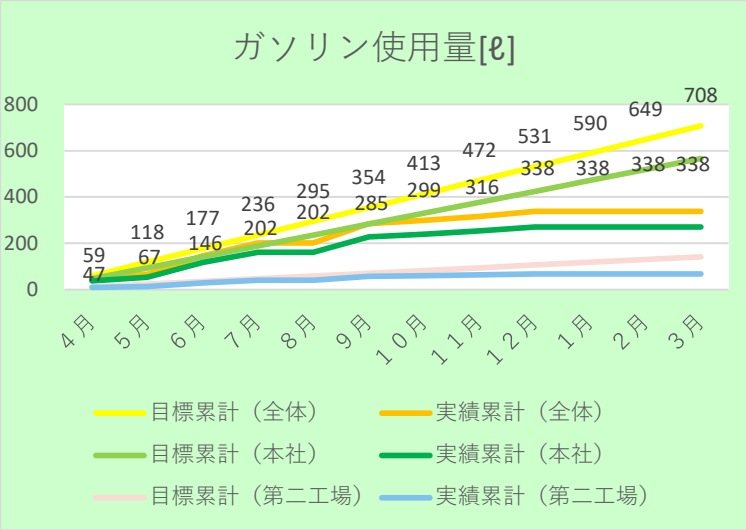
評価＝【　○　】　　目標値より-6%、-3,012ｋWh電力使用量の減少

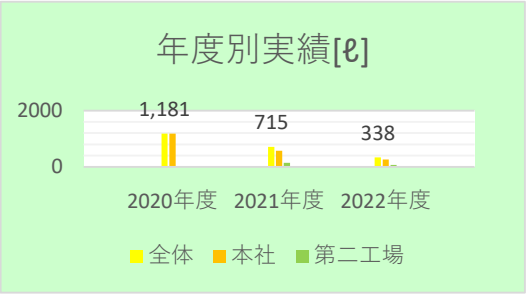
第二工場の電力使用量は、目標値より-6%の-3,012kwh 減少しました。

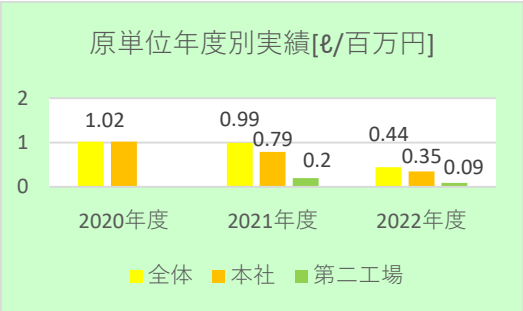
◇ガソリンの使用量（全体）

ガソリン（ℓ）			
年度	2020年度	2021年度	2022年度
全体	1,181	715	338
本社	1,181	572	268
第二工場		143	70

①エコドライブ（急発進、急加速、アイドリングストップ）
②用途に合わせて公共交通機関の優先利用







環境経営目標項目				２０２２年度目標	２０２２年度 実績		評価
ガソリン使用量	全体	ℓ	総量	708	338		○
			削減量(率)	-7(-1%)	-370	-52%	
	本社	ℓ	総量	566	268		○
			削減量(率)	-6(-1%)	-298	-53%	
	第二	ℓ	総量	142	70		○
			削減量(率)	-1(-1%)	-72	-51%	

●全体の取組結果とその評価

目標値	実績値
708	338

（単位：ℓ）

評価＝【　○　】　　目標値より-52%、-370ℓガソリン使用量の減少

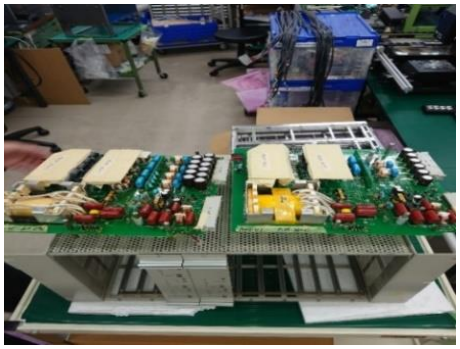
全体のガソリン使用量は、目標値より-370ℓ（-30.8ℓ/月平均）-52%減少しました。本社、第二ともに-50%以上の減少になりました。この主な要因は、コロナ過で外注先やお客様先への外出が減りこの様な結果になりました。

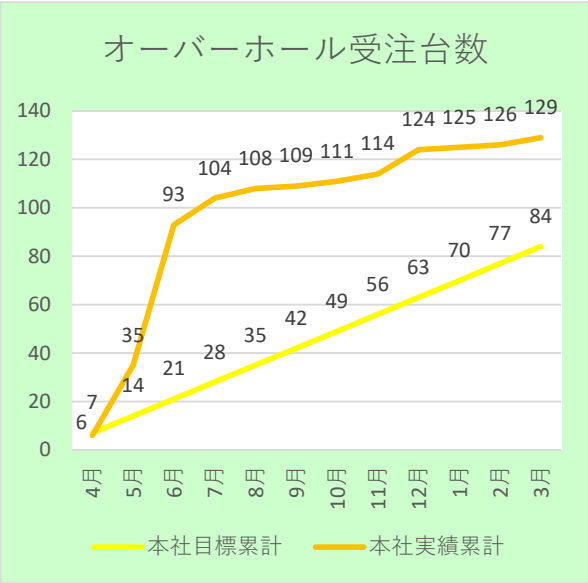
●全体の次年度の取組内容

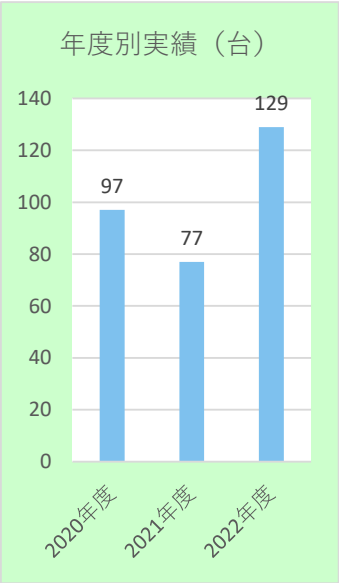
引き続き用途に合わせて公共交通機関の優先利用とエコドライブを推進いたします。
また、燃費効率の良いハイブリッド車の買い替えを検討いたします。

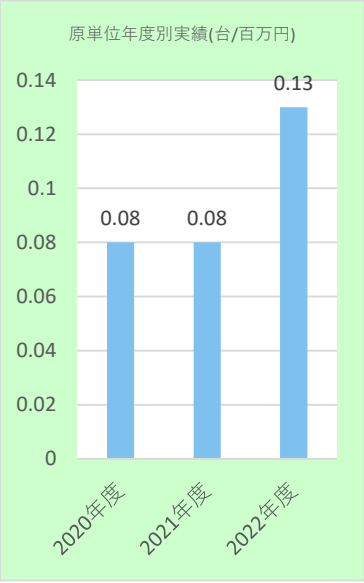
◇オーバーホール（本社）

①製品のオーバーホール営業活動
②経年劣化部品を交換して可能な限り再使用









●本社の取組結果とその評価

目標値	実績値
84	129

（単位：台）

評価＝【　○　】　　目標値より54%の45台オーバーホールの受注が増加

本社のオーバーホール受注台数は、目標より45台、54%増加となりました。

●次年度の取組内容

オーバーホールの受注活動や、経年劣化部品を交換して可能な限り再使用する活動を継続いたします。

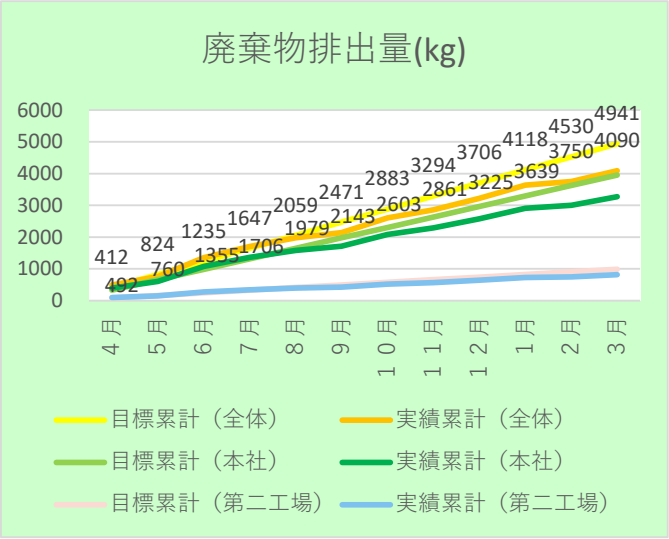
（3）廃棄物排出量の削減

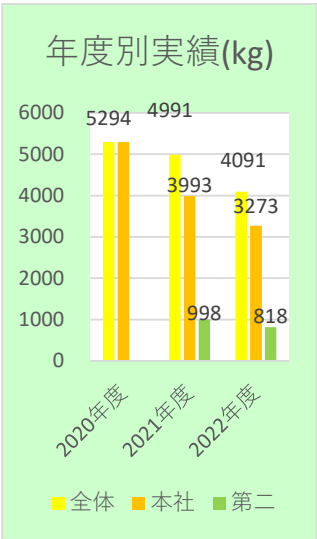
◇不燃・可燃ゴミ（全体）

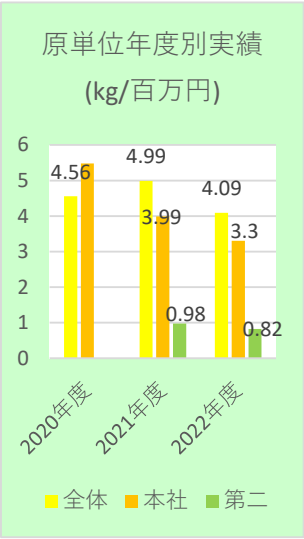
① 分別の再徹底
② 削減の推進

◇特管産廃一時保管場所

◇一般廃棄物一時保管場所







環境経営目標項目				２０２２年度目標	２０２２年度 実績		評価
廃棄物排出量	全体	kg	総量	4,941	4,091		○
			削減量(率)	-40(-1%)	-850	-17%	
	本社	kg	総量	3,953	3,273		○
			削減量(率)	-40(-1%)	-680	-17%	
	第二	kg	総量	988	818		○
			削減量(率)	-10(-1%)	-170	-17%	

●全体の取組結果とその評価

目標値	実績値
4,941	4,091

（単位：kg）

評価＝【　○　】　　目標値より-17%、-850ｋg減少

全体の廃棄物排出量は、目標値より -17%、-850 kg減少となりました。
本社、第二工場ともに-15%以上減少した。特に金属類の廃棄物が-400kg以上減少し
リサイクル品なった。

●全体の次年度の取組内容

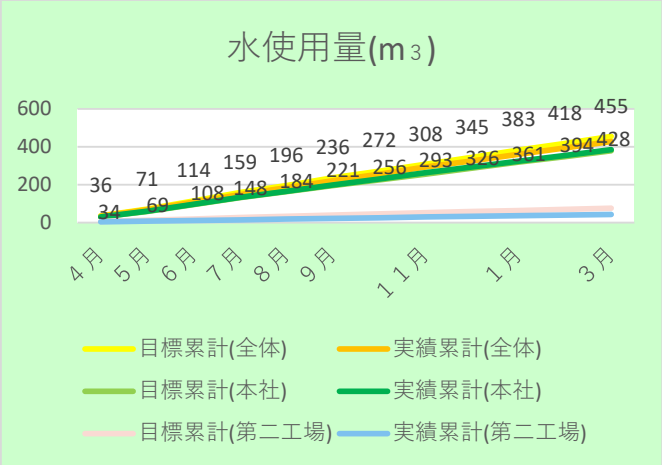
次年度もゴミ分別の徹底、引き続き購入品の廃棄物排出量削減を推進いたします。

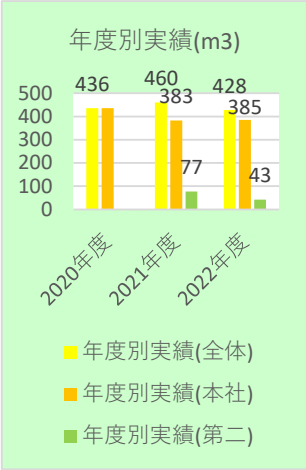
（4）水使用量の削減

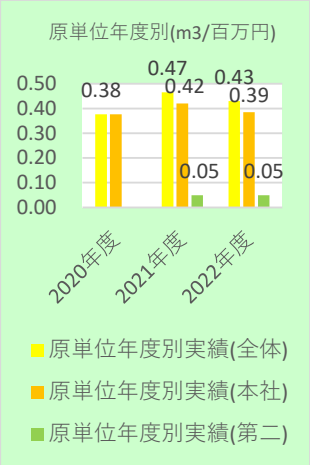
◇水使用量(全体)

①蛇口付近に節水の表示
②生活用水以外は洗車など使用を控える
③加湿器の水にポットの残り水を使用して無駄な水削減

第二工場 御手洗







環境経営目標項目				２０２２年度目標	２０２２年度 実績		評価
水使用量	全体	㎥	総量	455	428		○
			削減量(率)	-5(-1%)	-27	-6%	
	本社	㎥	総量	379	385		○
			削減量(率)	-4(-1%)	+6	+2%	
	第二	㎥	総量	76	43		○
			削減量(率)	-1(-1%)	-33	-43%	

●全体の取組結果とその評価

目標値	実績値
455	428

（単位：㎥）

評価＝【　○　】　　目標値より-6%、-27㎥減少

水使用量は本社が2%増、第二工場が-43%減となり全体で-6%減少で-27m3の節水が出来ました。

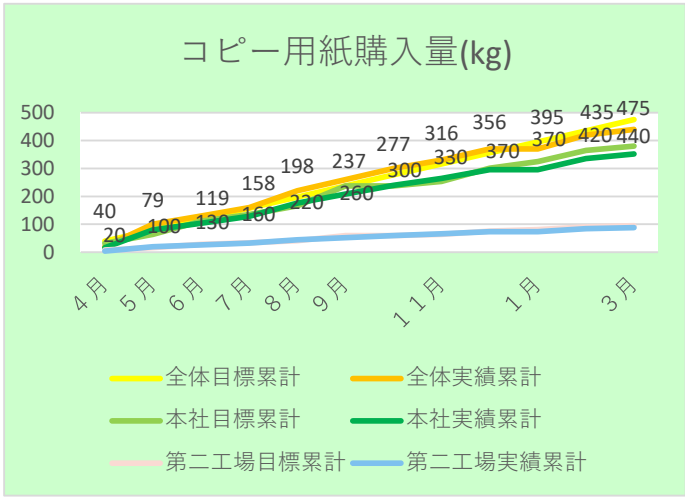
●次年度の取組内容

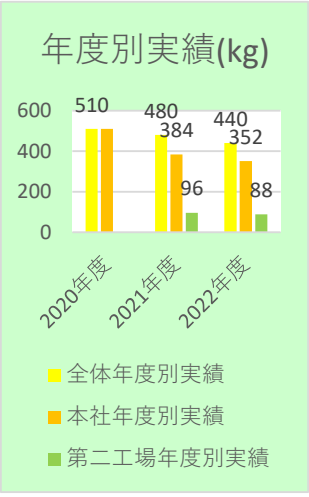
必要な生活用水以外、トイレの複数回流しなど使用を控えるように推進いたします。

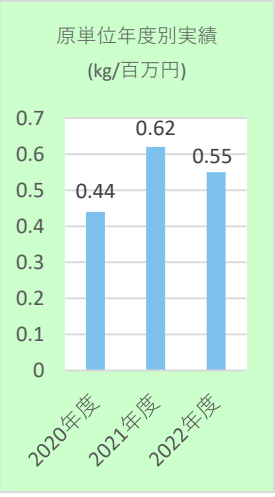
◇コピー用紙購入量（全体）

①両面印刷、両面コピーの推進
②裏紙の使用

第二工場 コピー機 再生紙







環境経営目標項目				２０２２年度目標	２０２２年度 実績		評価
コピー用紙購入量	全体	kg	総量	475	440		○
			増減	-4(-1%)	-35	-7%	
	本社	kg	総量	380	352		○
			増減	-4(-1%)	-28	-7%	
	第二	kg	総量	95	88		○
			増減	-1(-1%)	-7	-7%	

●全体の取組結果とその評価

目標値	実績値
475	440

（単位：kg）

評価＝【　○　】　　目標値より-7%、-35ｋｇ減少

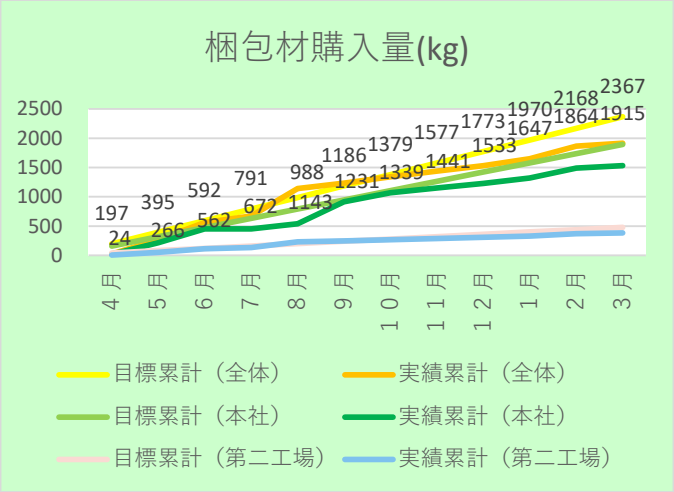
全体でコピー用紙購入量(本社)は、目標値より-7%、-35ｋｇ減少しました。
本社は-28kg減、第二工場は-7ｋｇ減となりました。
この要因は、資料などをなるべく印刷を控え電子化に替えた結果によるものです。

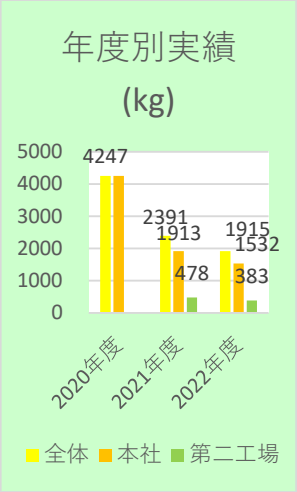
●次年度の取組内容

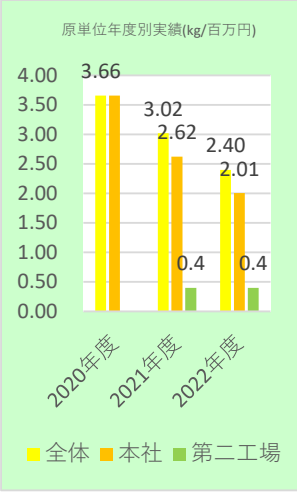
前年度同様に文書の電子化、裏紙の使用と両面印刷、両面コピーの取組を推進いたします。

◇梱包材購入量（全体）

①梱包材の見直し
②梱包材の再使用、再生利用の推進







環境経営目標項目				２０２２年度目標	２０２２年度 実績		評価
梱包材購入量	全体	台数	総量	2,367	1,915		○
			削減量(率)	-19(-1%)	-452	-19%	
	本社	台数	総量	1,894	1,532		○
			削減量(率)	-19(-1%)	-362	-19%	
	第二	台数	総量	473	383		○
			削減量(率)	-5(-1%)	-90	-19%	

●全体の取組結果とその評価

目標値	実績値
2,367	1,915

（単位：kg）

評価＝【　○　】　　目標値より-19%、-452ｋｇ減少

梱包材購入量は目標値より-19%、-452ｋｇ減少しました。
この要因は、梱包材を使わない筐体の受注が増えた事と通い箱の使用で無駄なく再使用が出来ました。

●次年度の取組内容

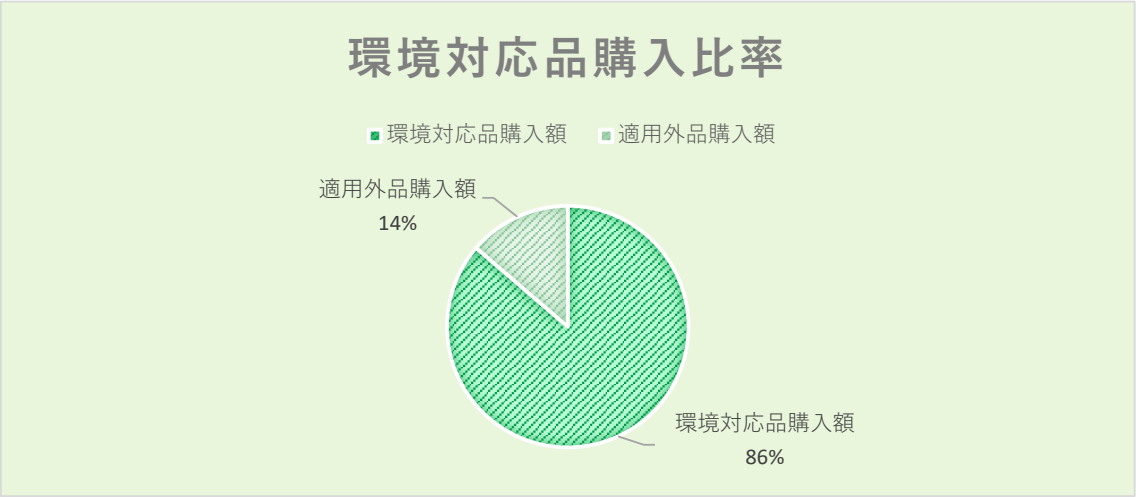
更に梱包材の見直しや梱包材の再使用、再生利用を推進いたします。

（5）環境対応品購入

◇環境対応品購入の推進（本社）

①環境対応品購入の推進
②購入品目の拡大
③コスト把握で効果を計る

＜環境対応品購入比率＞



●取組結果とその評価

購入総額	環境対応品購入額
184,498	159,226

（単位：￥）

評価＝【　○　】　　目標値とほぼ同値（目標値：購入総額の85%以上）

環境対応品購入の推進として、本年度もほぼ目標値の　８６%となりました。
購入品目のコスト面もしっかり把握することが出来ました。

●次年度の取組内容

環境対応品購入品目の拡大と除外品の削減に取組みます。

（6）マテリアルバランス

・インプット

2022年度は世界的に原材料や半導体不足の影響も有り、当社も調達材料部品の長納期化に対応し調達量が増加したが、調達材料部品以外の購入は抑えられた。

・アウトプット

2022年度の温室効果ガス総排出量は前年度比-8%の減少となりました。

・全体

2022年度のインプット			2022年度のアウトプット	
調達材料 ・電子部品 ・機構部品	 23,612 kg 11,803 kg	受注 ↓ 設計 ↓ 購買	製品 ・電子機器製品	 31,063 kg
製造調達 ・フラックス ・ＩＰＡ	 174kg 64kg	↓ 製造 ↓ 検査	廃棄物 ●産業廃棄物 ・金属 ・廃プラ	
紙／梱包材 ・コピー用紙 ・梱包材 （段ボール）	 440 kg 1,915 kg	↓ 事務	●一般廃棄物 ・段ボール ・一般紙 ・空き缶類 ・その他可燃	 6kg 1063kg 1350kg 410kg 72kg 302kg
エネルギー ・電力使用 ・ガソリン ・太陽光発電 （自家消費）	 249,504kWh 338 ℓ 12,187 kWh	↓ 梱包 ↓ 出荷	CO2排出量	94,604kg-CO_2
水(上下)	428 ㎥	↓ 運搬	排水(生活用水)	428 ㎥

（7）その他の取組

◇太陽光発電

弊社ビル屋上へ設置の**太陽光パネル**です。

２０２２年度の年間太陽光発電積算量は、12,187 kWhとなりました。この数値は今年度５月の電力使用量と同等の発電量です。少量ながらも温室効果ガスの排出量削減と長期的な発電効果がでてきました。
(自家)

◇環境情報の掲示

環境方針、環境目標を掲示

環境目標計測グラフは集計後に貼り換えて掲示

◇地域周辺との環境コミュニケーション活動

近隣の浅川土手沿いのゴミ拾い、美化活動の取組み

◇環境上の緊急事態の訓練

緊急事態に備えて、当社建物で消防訓練を実施致しました。

◇生物の多様性の保全（植物の保護）

本社玄関口の花壇に庭木が植えてあります。

8．環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

（1）環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

法令・条約等	要求事項	適用施設・物質等	確認日	担当	遵守状況確認	評価
廃棄物処理法	◆保管基準 ・掲示板：60cm角以上 (種類、氏名、連絡先)	(金属、廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ) ・特別管理産業廃棄物 (IPA<ｲｿﾌﾟﾛﾋﾟﾙｱﾙｺｰﾙ>鉛半田)	22.07.28	特管 環責	・掲示板 (産廃、特管、保管場所)	○
	・飛散等防止 (飛散、流出、浸透、悪臭)		22.07.28	環責	・飛散等防止 (保管場所)	○
	・衛生管理 (害虫発生防止)		22.07.28	環責	・害虫発生防止 (保管場所)	○
	◆委託契約 ・産業収集、 特別産廃収集運搬業者		22.07.28	環責	・産廃：委託業者と再契約 ・特管：委託業者と継契約	○
	◆特別管理産業廃棄物管理責任者の設置		22.07.28	環責	・特別管理産業廃棄物 管理責任者(受入払出係)	○
	◆ﾏﾆｭﾌｪｽﾄ交付、知事提出、写し保管		22.07.28	環責	・産業廃棄物管理交付等 状況報告書	○
フロン排出抑制法	◆業務用エアコンの簡易点検実施	・エアコン内外機	22.07.28	総務 環責	・定期的に点検	○
東京都環境確保条例	◆工場設置（知事許可） ◆適正管理化学物質	・工場設置許可証 ・適正管理化学物質の使用量等報告書	22.07.28	総務 環責	・基準遵守	○
東京都火災予防条例	◆指定数量未満の危険物の貯蔵及び取扱い	・IPA(第4類引火性液体)	22.07.28	防管 環責	・貯蔵所、作業場所で取扱	○
	◆少量危険物貯蔵取扱所の位置、構造及び設備		22.07.28	防管 環責	・基準遵守	○

（2）違反、訴訟等の有無

当社が適用する環境関連法規制について、環境マニュアルに規定する「環境関連法規制・条例・その他の規制登録表」により2022年4月1日から2023年3月31日までの状況を確認した結果、全社関係当局から違反等の指摘は有りませんでした。

９．代表者による全体評価と見直し・指示

全体評価

　今年度の活動も昨年度に続き、原材料不足により調達部品の長納期化も有り、生産工程や営業活動にも影響が出たが売上高は目標達成する事ができた。
しかし、品質面から終息部品や長納期部品の保管にかかる電力使用量が増えた。
　また、第二工場の稼働も本格的に稼働し、新たな取組としてＥＡ２１活動と共に省エネや持続可能な開発目標（SDGs）を支援する取組を全部門に定着する様に周知した。

次年度の取組

　次年度は当社としてＯＥＭ製品の部品廃品種に伴う製品再設計と自社製品のリニューアル設計製品の把握をすること。
　第二工場の取組も継続的に行うこと。また、新しい設備や部品保管にかかる電力使用量など負荷をしっかり押さえること。

２０23年4月１日
株式会社 ヒノックス
代表取締役社長 依田 享

１０．環境経営レポートの公表と活用

２００５年度より、当社ホームページで公表。　　アドレスは　↓↓

URL: http://www.hinox.co.jp/ecoaction/

または、エコアクション２１中央事務局ホームページの環境レポートは　↓↓

URL: http://www.ea21.jp/list/pdfn/0000404.pdf

以上